

Thursday

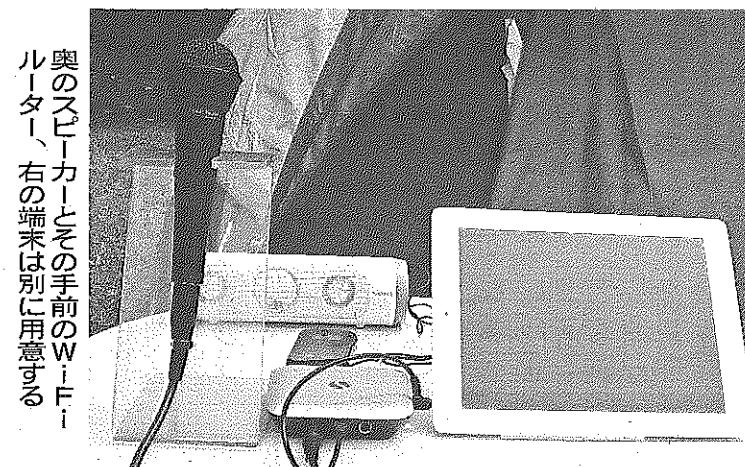
デジ@フジ

iPhoneやアンドロイドOS搭載のスマートフォン、タブレット端末の普及が、新聞や書籍購読をはじめとする生活のさまざまな「手順」を変えているが、自宅でのカラオケも大きく変化。街中の業務用機と遜色ない品質で楽しめるようになった。それを実現した「スマートカラオケ」を紹介する。

遜色ない、というより原理としては店舗の通信カラオケと同じである。端末がリクエストした楽曲をサーバーからダウンロードして再生す

る。その操作がスマホができるようになったのだ。今のところ対応機種はiPhone、iPad、iPodだけだが、11月からはアンドロイド端末にも対応する予定だ。

具体的な使い方を説明しよう。スマートカラオケ、略してスマカラのパッケージ(9800円)を家電量販店やAmazon、楽天で購入する。同梱されているのは10台四方のSTB(セットトップボックス)とカラオケボックスによくある普通のマイク、テレビやスピーカーと接続する



スマホでも車中でも高音質

ためのケーブル類。STBは基本的にオケと歌声のミキシングを担う。一方、端末側ではWi-Fi環境下でApp Storeから「スマカラ」で検索して無料アプリをダウンロード。インストール後、アプリのメニューから楽曲の購入手続きを終えれば、あとはカラオケボックスのリモコンを操作するのと変わらない。スマカラをスピーカーだけにつなげば端末はカラオケ画面と入りリモコンを兼用し、テレビとつなげば端末はもっぱらリモコン役だ。

曲の価格は「20曲350円」または「月々1200円の歌い放題」のいずれか。選んだ曲がストックされるのではなく、1曲歌うごとに1チケットが消費される課金方式なので、その点は注意が必要だ。

「チープなものにはしたくなかったんです。だから音と映像はカラオケボックスと同じものを用意しまし



キャンプでも本格的なカラオケが楽しめる

Smart Karaoke



た。曲数も5月末現在で8万7500曲で、毎月約1000曲ずつ追加しています。50台ぐらいのテレビとつなげば、カラオケボックスを上回るかも」と製造販売のサン・ホームエンターテインメントの前澤俊樹マネージャーは語る。

「閉塞感漂う日本なので、家庭から明るくなってほしい。ホームエンタメって1人遊びが多いけれど、カラオケは家族全員で楽しめますから」

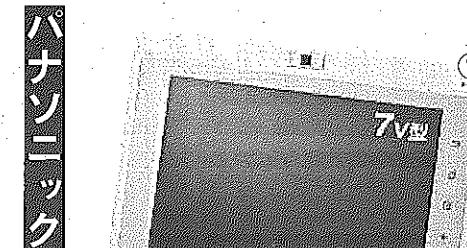
同社の楮(かじ)修社長は「カラオケのポイントは大音響でストレス発散することなので、なかなか家庭で(大音響)は難しいかもしれません、ハレの日のための練習にどうぞ」とクールにアピールする。たとえばクルマの中なら大声だって平気だ。筆者は都内の公園のディキャンプに持っていた。娘や嫁からの株が上がったのは言うまでもない。

『ディーガ』で録画した番組を持ち出せる



パナソニックのテレビやレコーダーには「お部屋ジャンプリンク」という機能が搭載されていて、相互に連携できる。このお部屋ジャンプリンクに対応したテレビ応用製品も続々登場している。

写真①はカメラを内蔵したコミュニケーション



今、どこでどのくらい雨が降っているの?